

学校運営に係る取組

学校支援に係る取組

地域貢献に係る取組

学校(園)が連携した地域ぐるみの取組

アドバイザーの
顔写真
画質【低】



田布施町

Tabuse



「逞しく文武両道で誠実な人の町」

田布施町教育委員会 窓原 恵美子

田布施町は、1中学校4小学校がそれぞれ学校運営協議会をもっています。地域連携教育アドバイザーには、学校運営協議会の充実と地域教育ネットワークの自立力を入れてまわっています。特に今年度は、家庭教師派遣にコストを割って、不登校や困難を抱える家庭に対して、きめ細かな支援を行うことにより、家庭教育の向上を図っています。今後も、逞しく文武両道で誠実な人がつながる町となるように協力をお願いしています。

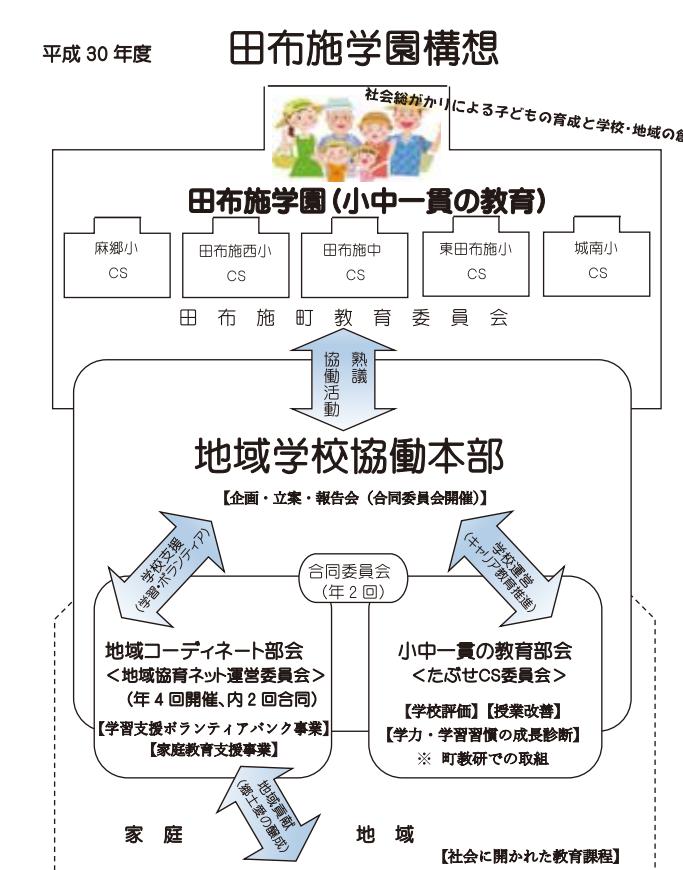
田布施町の推進構想

田布施町でコミュニティ・スクールの成果が続々と！
子どもが変わった！地域が変わった！これがコミュニティ・スクールの教育的効果！
学校や家庭・地域の幸せの形を実現！

1 コミュニティ・スクールの推進体制

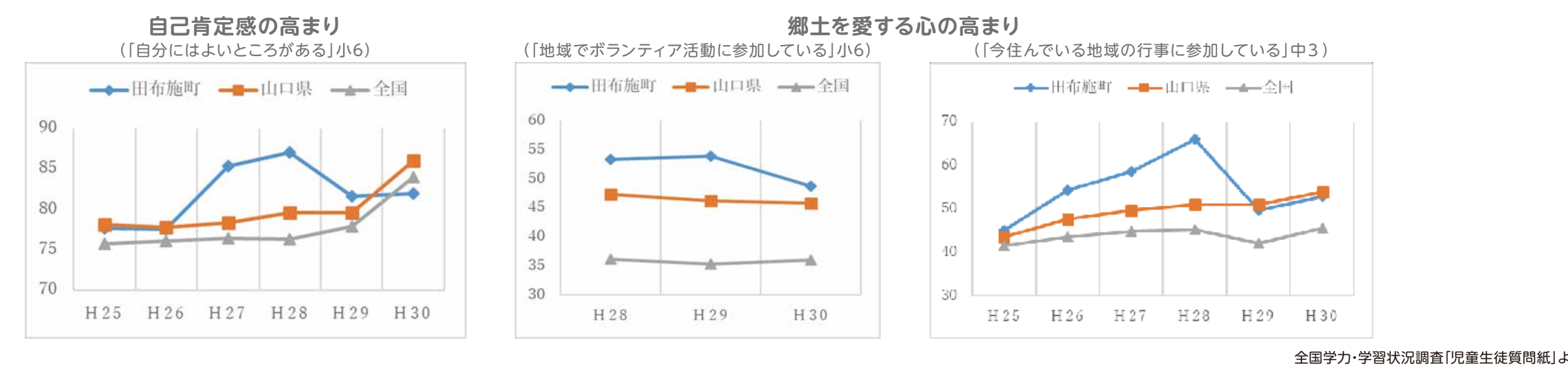
- ① [田布施学園]構想による目標統一
田布施町内の1中学校4小学校のコミュニティ・スクールが一体となり、町全体で小中9年間を通して子どもの育ちを支援していく組織を構築しています。学校運営を推進する「小中一貫の教育委員会」と学校支援を推進する「地域コーディネーター部会」からなる地域学校協働本部を中心に、家庭支援や地域活性化を含め、町民の力を結集した仕組みとなっています。
- ② 学校評価の項目統一
町内全小中学校の取組の水準を一定化するため、共通の学校評価項目を設定しました。その過程で、教職員評価、保護者や地域住民による評価との整合性もとっています。また、アンケート集計ツールによる分析の効率化も図っています。
- ③ 協働実践による取組統一
町内に、正午の合同として「田布施町歌」の音楽が響き渡っています。大人になって、同郷の仲間と「田布施町歌」を合唱する。そこには、ふるさと愛があり、ふるさと活性化への夢が広がる。そんな大人に成長してくれることを願って、「田布施町歌」を全学校で歌っています。

【その他の統一取組】「田布施ブランド 授業モデル(小中)」学力保障・心の成長保障カリキュラム(学校・家庭・地域)と成長診断チェック「課題克服連携カリキュラム」/「ノーメディアデーの設定」他



2 田布施学園構想の教育的効果

- ① 学校間格差の是正
授業モデルを活用した授業改善と学校評価、全小学校15時30分下校の実現と地域住民による放課後支援、小中合同研修会の実施等により、小学校間での学力差が解消し、中学校への指導の継続を実現しています。
- ② 学力や体力の向上
学力面では、学校運営協議会やPTAの協力を得て、家庭学習や読書時間の増加、望ましい生活習慣の定着が進んでいます。体力面では、学習支援や放課後運動支援、学校林の整備活用などで持久力や柔軟性が向上しています。
- ③ 心の変化
学校への支援や地域へのボランティア活動を通して、自己肯定感や郷土を愛する心の高まりが見られます。そして、志を果たしに田布施に帰ってくる子どもが増えることを期待しています。「おかえり」と迎えたい地域住民は、地方創生の主役である子どもたちへ思いを馳せています。



取組

学校運営に係る取組



田布施町立城南小学校

学校運営協議会において、「心」「学力」「体力」の各プロジェクトで熟議を行い、学校と地域が連携して「よりよい学校・地域づくり」を行う気運を高めることができました。

学校支援に係る取組



田布施町立田布施西小学校

夏休みに町内一斉に行われる学習会に、地域住民と共に田布施中学校の生徒が学習支援ボランティアとして参加し、小学生とのふれあいや助言に充実感を味わっています。

地域貢献に係る取組



東田布施公民館

地域のコスモスまつりに向け、苗を育てたり、展示するかかしを作成したりしました。当日は公民館教室で習得した手品を披露し、参加から参画への意識が高まりました。

学校(園)が連携した地域ぐるみの取組



麻郷公民館

公民館講座「世飾りづくり」の講師を教職員が務めました。子どもたちが作った世飾りが、地域の盆踊り大会のやぐらを彩り、地域の役に立った喜びを味わいました。